



# うめぐみだより(1歳児)

令和6年3月 No.4

日に日に寒さが和らぎ、春の陽気を感じることができるようになってきました。4月当初はよちよち歩きやハイハイで探索していた子ども達も、この一年で足腰がしっかりし、走り回って遊べるようになりました。おしゃべりも上手になって、「どうぞ」「ありがとう」と子ども達同士でやりとりをする姿も見られるようになりました。一人一人が自分のペースで大きく成長し、とても嬉しく感じます。うめ組で過ごす日もあとわずかですが、一日一日を楽しく元気に過ごしていきたいと思ひます。

## ☆こんなことをして遊んでいます☆

<友達と一緒に遊ぶのを楽しんでいます♪>

保育者と一緒に遊ぶだけでなく、周りの友達と関わろうとしたり、一緒に遊んだりする姿が増えてきました。手先が器用になってきて、様々な形のブロックを使って遊ぶことができるようになり、友達と一緒に高く積み、手を叩いて喜び合ったり、イメージを膨らませながらお家や乗り物、踏切、掃除機などを作ったりできるようになってきました。

体を動かすことも好きで、友達と一緒に「よーいドン」「まてー」と声を出しながら追いかけてっこをしています。音楽に合わせて踊ることも上手になり、「鬼のパンツがいい」「ダンダンする」「もう1回(する)」と曲をリクエストする姿も見られ、繰り返し楽しんでいきます。

ままごとでは、ごちそう作りの他に、好きな物を袋に詰めて買い物ごっこをしたり、おんぶひもやバンダナ等を身につけて人形のお世話ごっこをしたりしています。「〇〇が欲しい」「まだ使いたい」等と玩具の取り合いでトラブルになることもまだまだ多いのですが、友達に「どうぞ」と譲ってあげたり、泣いている子を見つけて様子を見に行き頭を撫でたり、持っている玩具をそっと手渡してあげたりする優しい姿も見られるようになってきていますよ。



<自分でやってみたい!>

衣服やズック、帽子、ジャンパーなどを着脱することを頑張っています。保育者が着脱の仕方を繰り返し知らせ、さりげなく手伝ったり、側で見守ったりすることで「自分でやってみよう」という意欲につながっています。ズボンやおむつを両足同じ所に入れていた子も、片足ずつ入れることができるようになり、「できた!」、「(シャツ)入れて」と保育者に伝えに来る姿が見られます。

秋にはズックや帽子を着脱するのに「できない」と苦戦していた子も多く、手を添えて被り方や履き方を教えてもらっていましたが、今では着脱するスピードが少しずつ速くなってきました。できないと言って助けを求める子も保育者に励まされながら、ズックのテープをめくったり、靴の中に足を入れたり、手を使ってかかとを入れてみようとしたりして、自分のペースで頑張っていますよ。

ジャンパーは首元の所を手でもって「アンパンマン」と言いながら背中の中へ持っていき袖を通していきます。自分でチャックをあげてみようとする子もいますよ。お家でも子ども達の「やりたい」という意欲を大切にしながらやってみてくださいね。

## 一年間ありがとうございました



この一年、子ども達の可愛い笑顔や姿にたくさんのパワーをもらって楽しく過ごすことができました。保護者の皆様と共に子ども達の成長を見守ることができましたこと、とても嬉しく思います。至らない点もあったかと思いますが、保護者の皆様の温かいご理解ご協力を頂きまして本当にありがとうございました。

うめ組担任

